

TALK IN JAPANESE FOR 6 WEEKS

WEEKLY

日本語で話す 6 週間

book 1

【トレーニングのヒント】 (week5 編)

* トレーニングは、スポーツ感覚で体（口）に覚えさせましょう！

Unit 21 受身形

* 受身形がすらすら言える

(→「トレーニングのヒント (活用編)」参照)

* 「～に V (受身形)」の文がすらすら言える

【用意するもの】

・受身でよく使われる動詞の絵カード (p.83 「言葉を増やそう」 や、p.145 のトレーニングにある動詞など)

*裏に動詞を書いておく

【手順】

- ①ペアになる。
- ②学習者 A が学習者 B にカードの絵を見せる。
- ③学習者 B が受身文を作る。

例)



Unit 22 「～ようになりました」「～なくなりました」

* 習慣の変化がすらすら言える

【用意するもの】

・動詞カードと、○×が書いてあるカード

例) 「寝る」「料理を作る」「運動する」「遊ぶ」「食べる」など

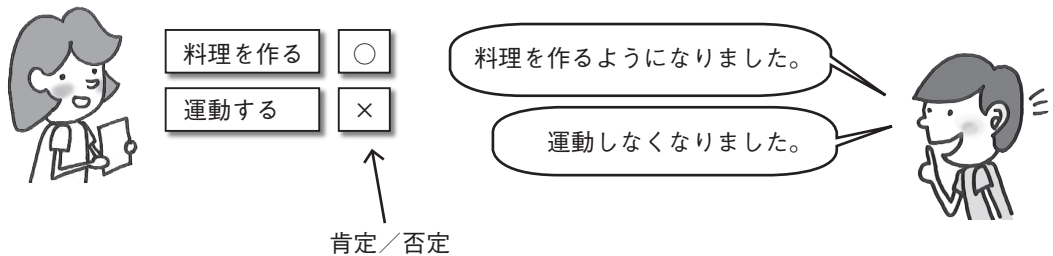
【手順】

①ペアになる。

②学習者Aが動詞カードと○×カードを1枚ずつ引く。

③学習者Bはそれらのカードを見て、変化の表現を使って文を言う。

例)



トレーニングのヒント

* 可能形を使って、能力の変化を言う練習もできる。

例) A

テレビ番組を理解する	○
------------	---

B 「テレビ番組が理解できるようになりました。」

* 形容詞カードを混ぜてもいい。

例) 「日本語が上手だ・寝る時間が長い」など

Unit 23 「～たり～たりする」

* 「～たり～たりする」の文がすらすら言える

【用意するもの】

・動詞カード

例) 「食べる」「飲む」「読む」「聞く」など基本的な動作のもの

【手順1】

①ペアになる。

②学習者Aが動詞カードを2枚引き、その2つの動詞とともに、時制を考えて言う。

③学習者Bがそれを聞いて「～たり～たりする」の形にする。

例) 学習者A：「音楽を聞く」「ご飯を食べる」「昨日」

学習者B：昨日、音楽を聞いたり、ご飯を食べたりしました。

【手順2】

①ペアになる。

②学習者Aが動詞カードを2枚引き、その動詞に合う名詞を言う。

③学習者Bが適切な動詞を考えて「～たり～たりする」の文を作る。

例) 学習者A：「コーヒー」「雑誌」「今晚」

学習者B：今晚、コーヒーを飲んだり、雑誌を読んだりします。

【手順3】

教師对学习者で、後続節の練習を行う。

例) 教師：教室でどんなことをしなければなりませんか。

学習者A：CDをリピートしたり、新しい言葉を覚えたりしなければなりません。

学習者B：それから、宿題を出したり、先生の話の聞いたりしなければなりません。

Unit 24 「～ようと思っている」「～し～し、……」

* 意向形がすらすら言える

(→「トレーニングのヒント (活用編)」参照)

* 「～し、～し、……」を使って、理由が素早く言えるようにする (※ Unit12 参照)

【用意するもの】

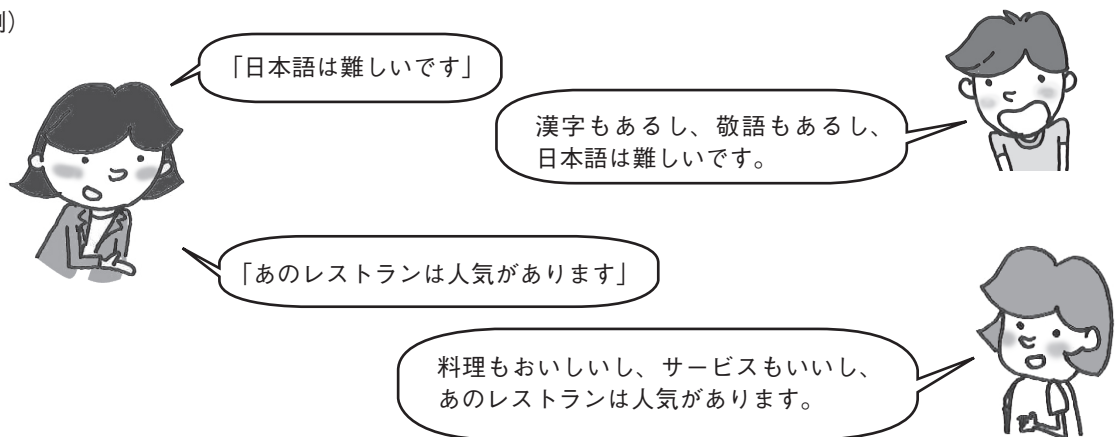
- ・特になし

【手順】

①教師がキューを出す。

②学習者は、教師が出したキューに理由をつける。

例)



Unit 25 「～てほしい／ないでほしい」

* 「～てほしい／ないでほしい」の文がすらすら言える

【用意するもの】

- ・ p.98 の「答えてみよう」や、p.149 のトレーニングの状況を絵カードにしたもの
- *裏に答えを文字で書いておく。

【手順】

- ①ペアになる。
- ②学習者Aが絵カードを引き、学習者Bに見せる。
- ③学習者Bが「～てほしい／ないでほしいです」の文を言う。

例)

